

私の留学体験記

広島県立高陽東高等学校 2年 西 架音(にし かのん)

留学期間 令和6年3月2日～令和6年3月15日 (14日間)

留学先 Tauraroa Area School(ファンガレイ、ニュージーランド)

今回、私が留学させて頂いた期間は、2週間という短い期間でした。こんな短い期間で得るものはあるのか不安でしたが、必ずあります。

私はこの留学を目標に学校生活を送ってきました。1年のころはコロナが流行していたこともあり行くことができませんでした。その期間は来年行けることを願って英語を一生懸命勉強していました。そして今回行くことができました。

留学が始まる前は、わくわくでいっぱいでした。初めて行く海外でどんな世界が広がっているのか楽しみだったからです。しかし飛行機が着陸した瞬間、自分の英語力は通じるものなのかなど不安な気持ちも出てきました。ですがそれを感じさせる暇もないほど空港から自分の価値観は変わりました。日本の様な固い空気が一切なかったからです。現地の人はずいぶんフレンドリーで個性を崩さず、挨拶を大事にしていることが分かりました。空港から留学先の学校まで長い道のりだったので現地の街並みを感じながら移動することができました。全てが新鮮で自分の中の世界が広がった感じがしました。ホストファミリーと初めて対面した時は笑顔と挨拶を意識しました。初めましてなのにも拘わらず私のことを自分の子どもの様に受け入れてくれて嬉しかったです。ファミリーの家の周りには自然豊かで、夜には天の川のような星空で流れ星を見ました。放課後はビーチでピクニックやスポーツを楽しみ、休日はお土産を買えるようにたくさんショッピングに連れて行ってくれました。非日常な暮らしを体験できました。

学校の授業は、現地の文化や日本では習わないようなことを教えてもらい、英語に興味を持つことができました。現地の生徒はずいぶん日本に興味を持っており日本語を教えたり折り紙で遊んだりして、国を超えて日本のいいところを共有できて楽しかったです。また、多国籍で色々な国の生徒と交流することができました。交流するときには積極性と恥じないことが大切だと改めて感じました。分からないことは恥じずに聞く、自分の英語力は気にせず英語を使うことに恐怖心を持たないことが大切です。相手はネイティブなので理解してくれようとするし自分が会話に困ったときには質問をしてくれるので自分にとって勉強にもなるし楽しくコミュニケーションができました。恥じないことを意識して会話をしていくことにより上達し、国を超えた友人を作ることができました。

この留学を通して、価値観の変化や英語を使うことの恐怖心がなくなり、自分の可能性を広げられたと思います。また、留学に行ったことがない人に絶対日本から出て、他国の学びを身に付けたほうが良いと伝えたいです。